

- 問1 中央高地に位置する甲府盆地で、ぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 県土の約85%が山地であるため、水はけの良い扇状地や傾斜地を有効に活用する必要があったから。

2. 海岸沿いの平坦な土地が広がっており、海風による塩害を受けにくい広大な農地が確保できるから。

3. 瀬戸内の温暖な気候に属しており、桃やマスカットとともに大規模な施設園芸が発達したから。

4. 一年を通じて降水量が非常に多く、稲作に必要な水を確保しすぎるため、湿気を好む果樹を選んだから。
- 問2 石川県金沢市は、江戸時代に加賀藩の城下町として栄えた歴史を持ちます。現代の都市景観においても、日本三名園の一つに数えられる庭園の周辺に、美術館や博物館、図書館などの多くの文化施設が集まっているのが特徴です。この文化施設の集積地近くに位置する、歴史的な庭園の名称として正しいものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
1. 後楽園

2. 兼六園

3. 偕楽園

4. 縮景園
- 問3 ある都道府県の産業について、農業産出額では米の産出額に比べて野菜の産出額が約3倍と高く、イチゴなどの栽培が盛んである一方、製造品出荷額等が約1兆円にのぼり、工業が極めて盛んであるという特色を持つ県を選んでください。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 宮崎県

2. 北海道

3. 新潟県

4. 静岡県
- 問4 富山県にある黒部ダムの東側に位置し、富山・岐阜・長野・新潟の各県にまたがって南北に伸びる山脈があります。通称「北アルプス」とも呼ばれ、標高3000メートル級の山々が連なるこの山脈の名称として正しいものを選んでください。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 木曽山脈

2. 日高山脈

3. 飛騨山脈

4. 赤石山脈
- 問5 山梨県上野原市付近の地形において、標高が高くなっていく斜面の中腹に位置する地点から、南側の桂川が流れる方向を眺めた際に確認できる景観の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. さらに北側へ続く急峻な山々と、その頂上にある展望台

2. 崖のすぐ下を通る道路と、それを取り囲む密集した住宅地

3. 国道20号が複雑に交差する大規模な交差点と商業施設

4. 桂川に架かる桂川橋と、その付近を走る鉄道の線路
- 問6 新潟県や富山県といった北陸地方の県における、土地利用の統計的な特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。耕地面積全体に占める「田」と「畑」の割合に着目して答えなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 果樹園などの畑地利用が中心であり、田の面積は10%未満である

2. 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある

3. 耕地面積のうち、田と畑がほぼ50%ずつで、混合農業が盛んである

4. 都市化が進んでいるため、田の面積は耕地全体の30%以下に留まっている
- 問7 日本の本州中部において、日本海側に面しており、戦国時代には上杉謙信が拠点としたことで知られ、現在は越後平野を中心に米の生産が非常に盛んな都道府県はどこか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 富山県

2. 長野県

3. 新潟県

4. 埼玉県
- 問8 愛知県豊橋市は全国でも有数の農業産出額を誇ります。この地域の農業産出額の内訳を示した統計において、米、果実、畜産などの項目を抑え、全体の半分以上（約51.4%）を占めている品目として最も適切なものを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 畜産

2. 米

3. 野菜

4. 果実
- 問9 長野県の諏訪盆地において、戦後に製糸業から精密機械工業へと産業構造が大きく転換した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 第二次世界大戦中に大都市から工場が疎開してきたことを契機に、高度な加工技術が地域に根付いた。

2. 高度経済成長期に太平洋ベルトに位置する利点を活かして、大規模な石油化学コンビナートが建設された。

3. 豊かな森林資源を背景に、江戸時代から続く伝統的な家具製造が機械化され、輸出産業へと成長した。

4. 内陸工業地域としての特性を活かし、輸入した鉄鉱石や石炭を原料とする重化学工業の拠点として再開発された。
- 問10 ある都道府県の統計データにおいて、年平均気温が16.5度、年降水量が2324.9mmと温暖多雨な気候を示し、農業産出額の上位品目に「茶」と「みかん」の両方が含まれている都道府県はどこですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 宮崎県

2. 長野県

3. 静岡県

4. 宮城県
- 問11 岐阜県の県境付近にそびえる山々を水源とし、伊勢湾などの海へ注ぐ木曽三川（木曽川・長良川・揖斐川）などの河川について、その地理的な特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 上流部で深い渓谷を形成し、流路を大きく西に変えて隣接する県を通じて海へ注ぐ

2. 水源から河口まで一貫して緩やかな流れを保ち、大規模な水運の拠点となっている

3. 火山のある半島を迂回するように流れ、広大な平野で大規模な稲作を支える

4. 山間部から直接東へ流れ、県境を越えることなく最短距離で太平洋へ注ぐ
- 問12 北陸新幹線の延伸開業が、石川県や富山県などの沿線地域に与えた地理的・社会的な影響の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 太平洋側の工業地帯と直接結ばれたことで、内陸部に大規模な石油化学コンビナートが形成された。

2. 日本海側から太平洋側への人口流出を阻止するため、すべての特急列車が廃止され新幹線に一本化された。

3. 首都圏との移動時間が大幅に短縮されたことで、観光客の増加やビジネスの活性化が進んだ。

4. 農産物の高速輸送が可能になったことで、北陸地方は日本最大の近郊農業地域へと変化した。
- 問13 日本の交通網の大動脈である東海道新幹線の路線において、静岡県から西へ進み、岐阜県に到達する直前に通過する、中京工業地帯の中心地を含む都道府県はどこですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 愛知県

2. 三重県

3. 滋賀県

4. 長野県
- 問14 豊橋市の農業は、生産した農作物を新鮮な状態で大都市へ出荷できるという利点を持っています。このような農業が発展した背景にある、地理的な交通条件についての説明として正しいものを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 冷涼な高冷地の気候を活かし、他の地域が生産できない夏場に供給できるため

2. 広大な干拓地を活かして大規模な自動化農場を建設し、生産コストを抑えたため

3. 国際貿易港が隣接しており、航空機を利用した海外への鮮度保持輸送が可能なため

4. 東名高速道路のインターチェンジが近く、大都市へ迅速にトラック輸送できるため

## 答え合わせ・解説

|     |                                                        |                                                                                                                                                                              |
|-----|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 1<br>県土の約85%が山地であるため、水はけの良い扇状地や傾斜地を有効に活用する必要があったから。 | 山梨県は県土に占める山地の割合が非常に高く、平地が限られています。甲府盆地の縁に広がる扇状地は水はけが良いため、主食である米の栽培（稲作）よりも、水はけの良さを好む果樹の栽培に適しています。また、盆地特有の昼夜の寒暖差が果実の甘みを強めることも、高品質なぶどう生産を支える要因となっています。                           |
| 問2  | 答え 2<br>兼六園                                            | 金沢市は加賀藩100万石の城下町として発展した都市であり、その中心部には日本三名園の一つである兼六園が位置しています。城下町としての歴史的背景を活かし、兼六園や金沢城跡の周辺には美術館などの文化施設が数多く建設され、北陸地方の文化的な中心地としての役割を果たしています。他の選択肢である偕楽園は水戸市、後樂園は岡山市にある庭園です。       |
| 問3  | 答え 4<br>静岡県                                            | この県は太平洋側に位置し、温暖な気候を利用した野菜の栽培が盛んで、農業産出額では米よりも野菜の割合が高いことが特徴です。また、輸送用機械などの工業が発達しており、製造品出荷額が非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も多いことから、日本屈指の工業県としての側面を持っています。                                   |
| 問4  | 答え 3<br>飛騨山脈                                           | 中部地方の中央部には標高3000メートルを超える険しい山脈が南北に3つ並んでおり、これらは「日本アルプス」や「日本の屋根」と呼ばれています。そのうち最も北側に位置し、富山県の黒部ダム の東側にそびえるのが飛騨山脈（北アルプス）です。中央に位置するのが木曽山脈（中央アルプス）、南側に位置するのが赤石山脈（南アルプス）です。            |
| 問5  | 答え 4<br>桂川に架かる桂川橋と、その付近を走る鉄道の線路                        | 地形図の読解において、等高線の間隔から斜面の傾きや展望を推測することが重要です。この地点は北に向かって標高が上がる斜面の中腹にあるため、南側には視界が開けています。その先にある桂川には橋の記号（桂川橋）があり、さらに鉄道が通っているため、これらを一望できる景観となります。崖下の道路や国道の交差点は、この地点からの主要な遠望対象とは異なります。 |
| 問6  | 答え 2<br>耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある              | 北陸地方は日本を代表する米どころであり、特に新潟県などの統計を見ると、耕地面積の大部分を田が占めていることがわかります。具体的には、耕地全体のうち80%以上が田となっており、これは冬の積雪の影響で裏作（冬の間に別の作物を育てること）が難しく、米の単作地帯として発展してきた歴史的・気候的な背景が影響しています。                  |
| 問7  | 答え 3<br>新潟県                                            | 越後平野は日本有数の稲作地帯であり、この平野を抱える新潟県は米の生産量が全国トップクラスです。また、戦国時代には上杉謙信がこの地を治めていました。選択肢にある長野県と埼玉県は内陸県であり、富山県は新潟県の隣に位置しますが越後平野は含みません。                                                    |
| 問8  | 答え 3<br>野菜                                             | 豊橋市は、温暖な気候と豊川用水の整備を背景に、施設園芸や露地栽培が極めて盛んな地域です。他の主要都市と比較しても、富山市のように米の割合が高かったり、鹿児島市のように畜産の割合が高かったりする傾向とは異なり、キャベツやブロッコリー、トマトといった野菜の生産に特化している点が大きな特徴です。                            |
| 問9  | 答え 1<br>第二次世界大戦中に大都市から工場が疎開してきたことを契機に、高度な加工技術が地域に根付いた。 | 諏訪盆地では、明治時代から製糸業が発展しており、手先の器用な労働力が豊富に存在していました。第二次世界大戦中、空襲を避けるために都市部の時計工場などがこの地へ疎開してきたことで、精密な加工技術が導入されました。戦後はその技術と、部品の洗浄に適した清浄な水や空気といった環境条件が合致し、精密機械工業が地域の基幹産業となりました。         |
| 問10 | 答え 3<br>静岡県                                            | 静岡県は、太平洋側の温暖な気候と、牧之原台地に代表される水はけの良い台地、さらには日当たりの良い傾斜地という地形的特色を持っています。これを活かして台地では茶の栽培が、傾斜地ではみかんの栽培が盛んに行われており、いずれも全国上位の産出額を誇ります。宮崎県も温暖ですが茶のイメージは静岡ほど強くなく、長野県や宮城県は気候データが異なります。    |
| 問11 | 答え 1<br>上流部で深い渓谷を形成し、流路を大きく西に変えて隣接する県を通して海へ注ぐ          | 岐阜県の主要な河川は、水源となる山地から流れる過程で、上流部では急峻な地形により渓谷を形成します。その後、地形の影響を受けて流路を西へと大きく変え、三重県などの隣接する県を貫通して海（伊勢湾）に注ぐという特徴的なルートをたどります。                                                         |
| 問12 | 答え 3<br>首都圏との移動時間が大幅に短縮されたことで、観光客の増加やビジネスの活性化が進んだ。     | 北陸新幹線の開通により、かつては乗り継ぎが必要だった東京と北陸地方が直結されました。これにより時間距離が短縮され、金沢や富山といった都市への観光客が急増したほか、企業の支店設置が進むなど経済的な結びつきが強まりました。一方で、並行する在来線の経営分離などの課題も生じています。                                   |
| 問13 | 答え 1<br>愛知県                                            | 東海道新幹線は、東京都から神奈川県、静岡県を経て愛知県に入り、その後、岐阜県、滋賀県、京都府を通過して大阪府へと至ります。愛知県は静岡県と岐阜県の間に位置しており、県内には豊橋、三河安城、名古屋の3つの新幹線停車駅が存在します。                                                           |
| 問14 | 答え 4<br>東名高速道路のインターチェンジが近く、大都市へ迅速にトラック輸送できるため          | 豊橋市は日本の大動脈である東名高速道路のインターチェンジに近いという立地上の強みがあります。これにより、中京圏だけでなく関東や関西といった巨大な消費地（大都市）に対して、収穫から短時間で農作物を届けることができます。このように大都市の需要に合わせて新鮮な農作物を供給する仕組みは、近郊農業的な性格を強く持っています。               |